

環境総合研究所開設に伴う大気汚染情報の提供方法の変更について

環境総合研究所の開設に合わせ、本庁前電光表示盤の表示を終了し、新たに3月下旬から多様化・高度化した情報提供媒体を活用し、より充実した情報提供を実施します。

1 背景

- 本庁舎前電光表示盤は、川崎区の大気汚染状況をリアルタイムで通行者に提供するために設置（昭和46年設置、平成元年更新）
- 公害監視センターのシステムの環境総合研究所への移設に伴い、公害監視センターからのデータを直接送信している本庁舎前電光表示盤が停止
- 現行の電光表示盤は平成元年に設置、23年以上が経過し老朽化が進み部品調達や制御ソフト等の改修は困難、表示継続には全面更新を要し、多額の費用（約9,000万円～13,000万円）が必要
- 情報提供媒体の多様化・高度化により、電光表示盤より充実した情報提供が可能

2 これまでの主な取組

平成24年10月31日	環境委員会に環境総合研究所の開設及び大気汚染情報の提供方法の変更について報告
平成24年11月21日	環境審議会公害対策部会に環境総合研究所の開設及び大気汚染情報の提供方法の変更について報告
平成24年12月20日	電光表示盤本体3ヶ所に表示終了の案内を掲示
平成25年1月15日	電光表示盤による大気汚染情報提供の表示終了
平成25年1月22日	環境総合研究所の公害監視システム稼働

3 新たな情報提供方法等

- 本庁舎（第3庁舎）内におけるモニターの設置による情報提供【新規】
- テレビ神奈川のデータ放送による情報提供【新規】
- 環境対策課及び川崎区役所閲覧場所で紙媒体による情報提供【暫定措置】
- 市HPによる情報提供・図書館の端末からのHP閲覧【既存】

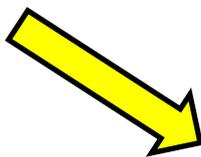
4 変更のイメージ



本庁舎前電光表示盤

表示項目：
・川崎区内一般局の
SO₂、NO₂、Ox、SPM

第3庁舎内モニター



地デジデータ放送による
大気環境情報の提供



表示項目：
・全測定局の
全項目



表示項目：
・一般局の
SO₂、NO₂、Ox、
SPM、PM2.5